

長谷川町子美術館・水産庁連携
「さかなの日」応援団」コンセプト

四方を海に囲まれ、沖合では暖流と寒流がぶつかる、恵まれた海洋環境を有する我が国では、多種多様な魚が漁獲され、四季折々の旬の水産物を使った豊かな魚食文化が根付いています。この魚食文化は、漁業者等による適切な資源管理による水産資源の持続的利用にも支えられてきました。

しかし、平成 13 年以降、我が国の水産物の消費量は減少しています。消費量の減少は、魚食文化とそれを支える水産業の衰退につながる恐れがあります。

こうした状況を踏まえ、水産庁は毎月 3 日から 7 日を「さかなの日」と制定し、水産物の消費拡大に向けた取組を官民協働で推進しています。

「サザエさん」は、サザエさんをはじめ、カツオくん、ワカメちゃん、タラちゃん、波平さん、フネさん、マスオさんと、さかなと海にまつわる名前を持つ家族の日常を描いた温かみとユーモアあふれる四コマ漫画です。

これまで、サザエさん一家は、「森林の環（もりのわ）応援団」として、森林資源の循環利用の「環」を確かなものとするため、活動していただきました。サザエさん一家から連想される豊かな海は、豊かな森林によっても支えられているからです。

この度、そんなサザエさん一家が、「さかなの日」にも賛同して、「海」側からこういった取組をいっそう推進するため、「さかなの日」の応援団としても協力してくれることになりました。

サザエさん一家による「さかなの日」の取組を通じて、おいしさや健康効果といった「さかな」の魅力、漁業者等による資源管理の取組等をもっともっと知ってもらいたいと思います。

サザエさん一家とともに、おいしい「さかな」をたくさん食べて、おいしい魚を未来につないでいきませんか。